

授業科目名： 道徳指導法（初等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：小山久子 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳の理論及び指導法		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>「特別の教科 道徳」は道徳教育の補充・深化・統合の場であり、全体計画・指導計画に則り展開されていることを知る。即ち、35分の1の授業は、学校教育活動全体と関わって実施されるべきものであるというカリキュラムマネジメントの視点を知る。その上で、「考え議論する」道徳の授業とはどのようなものかを実践的に試行し、指導力を身につける。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>「道徳の理論と指導法」及び「小学校学習指導要領解説 道徳編」を活用して「特別の教科 道徳」のあり方について理論的に検討する。併行して、それに則った授業のあり方について、教材研究を通して学び取る。また、いじめ問題・国際理解・環境問題等、現代的な課題を踏まえ指導案を作成することによって、実践的な指導力を身につける。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：道徳教育の諸問題を明らかにし、道徳教育の可能性や課題について考える。</p> <p>第2回：道徳教育で育成すべき道徳性とは何かについて考える。</p> <p>第3回：生きる力と道徳性との関わり、道徳教育・道徳科の目標と指導内容について考える。</p> <p>第4回：道徳性発達のメカニズムを心理学の見地から理解し、その発達を支援する具体的な教育方法について学修する。</p> <p>第5回：コールバーグの道徳性発達理論によるモラル・ジレンマの授業展開等を知ることによって、「考え議論する道徳」について検討する。</p> <p>第6回：「考え議論する道徳」に至る戦前戦後の道徳教育の経緯を遡る。</p> <p>第7回：各国の道徳教育と比較することによって、日本の道徳教育の特徴を知る。</p> <p>第8回：機能する「道徳教育の全体計画」「年間指導計画」は、どうあるべきか、どう改善・充実を図るかについて検討する。</p> <p>第9回：「特別の教科 道徳」（道徳科）のめざす「考え議論する道徳」とは何か、「主体的・対話的で深い学び」「問題解決的な学習」「体験的な学習」等の位置付けを明確にすることによって、検討する。</p> <p>第10回：子どもの道徳性の発達段階や実態を踏まえた主題・ねらいの設定、展開の流れについて知る。</p> <p>第11回：学習指導過程における教材や発問の吟味や工夫による道徳科学習指導案の作成について検討する。</p> <p>第12回：道徳科における問題解決的な学習とは何か、問題解決的な学習を生かした学習指導過程について検討する。</p> <p>第13回：道徳科における体験的な学習とは何かについて、具体的に検討する。</p> <p>第14回：道徳科の多様な授業展開例について知る。また、授業展開を考える中で子どもの道徳性の変容をどのように評価するのかについて考える。</p> <p>第15回：子どもが主体的に道徳性を高め、深めることを支援する教師に求められる道徳的指導力とはどうあるべきなのかについて考える。</p>			
<p>テキスト 『道徳の理論と指導法「考え議論する道徳」でよりよく生きる力を育む』 小学校学習指導要領解説 道徳編（文部科学省）</p>			
<p>参考書・参考資料等 なし</p>			
<p>学生に対する評価：課題提出（2課題）</p>			